

教えて！国民年金

年金生活者支援給付金制度をご存知ですか

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。案内や事務手続きは、日本年金機構(年金事務所)が実施します。

【対象者】

● 老齢基礎年金を受給している人

次の要件をすべて満たしている必要があります

- (要件)・65歳以上
- ・世帯員全員の市町村民税が非課税
- ・年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下

● 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している人

(要件)・前年の所得額が約472万円以下

【請求手続き】

● 新たに年金生活者支援給付金を受給できる人

対象者には、日本年金機構から請求手続きの案内を8月下旬頃に送付しています。同封のはがき(年金生活者支援給付金請求書)に記入し、提出してください。

● 年金を受給しはじめる人

年金の請求手続きと併せて年金事務所または市で請求手続きをしてください。

日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください
電話で家族構成や口座番号・暗証番号を尋ねたり、手数料などの金銭を求めたりすることはありません。



厚生労働省HP

請求に関するお問い合わせ「給付金専用ダイヤル」 ☎0570-05-4092(ナビダイヤル)

南島原の考古学 暗文をもつ壺



暗文をもつ壺

発掘調査で出土する壺は、そのほとんどが無地のもので、食糧をたくわえるための日用品です。しかし、まれにきれいな模様を施した壺が出土することがあります。

この壺の破片は弥生時代後期(約1750年前～2000年前)のもので、縦方向の太い線が何本も入っていて、しま模様になっています。土器の表面を竹や木などの工具で丹念に磨き、部分的に光沢を浮かび上げさせる「暗文」と呼ばれる文様です。元は壺全面を朱色の絵の具で塗っていたようですが、暗文の部分だけは、絵の具が強く擦り付けられたために剥がれずに残っています。

このような装飾を施した土器は、日用品としてではなく祀りやお祈りの際に用いられたようです。やはり日用品と同じものではない理由があったのでしょうか、土器の破片から、弥生人の美意識をかいま見ていく気がします。

10月～11月の小企画

10月1日(金)～11月29日(月)

※休館日：毎週火曜日

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

深江埋蔵文化財・噴火災害資料館

一般…200円、高校生…150円、

中学生以下…無料 *団体割引あり

※企画展は入館料のみでご覧いただけます。

国文化財課(南有馬庁舎) ☎73-6705

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止になる場合があります。

つなごう未来へ！ 島原半島ユネスコ世界ジオパーク



島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540
E-mail: info@unzen-geopark.jp

ジオだより

島原半島ユネスコ世界ジオパークでは、ジオパーク活動を通じて地域の宝を守り未来に引き継いでいくために行うべき活動を4つの項目に分類して取り組んでいます。その活動の一部をご紹介します。

保全

普賢岳登山道巡視

8月6日に、普賢岳の登山ルートへの歩道、施設、標識類などの点検を行いました。

巡視は環境省・長崎県・島原半島3市・島原半島ジオパーク協議会で定期的に行っています。



登山ルートから見た平成新山

教育・研究

ジオくん・ジーナちゃんのランタンが復活

島原工業高校建築技術科の生徒11人に行っていたいた修繕作業が完了し、島原半島ジオパークのマスコット「ジオくん」と「ジーナちゃん」のランタンが見事に復活しました。



ライトを点灯したマスコットたち

観光

島原半島ジオパークのラジオがスタート

NBCラジオの番組内で「ラジオが発信！島原半島ユネスコ世界ジオパークの魅力シリーズ！」というコーナーが、月2回(第2・4木曜午後2時10分頃)放送されています。

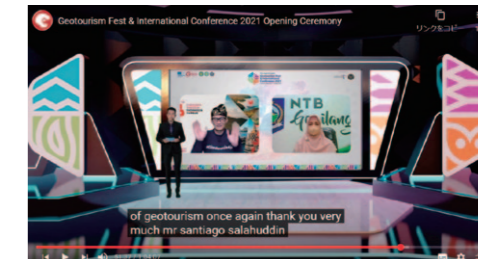


コーナーのロゴマーク

ネットワーク

国際ジオツーリズム祭に参加

インドネシアのリンジャン・ロンボク・ジオパークが現地とオンライン併用形式で開催した「ジオツーリズム祭&国際会議」に、島原半島ジオパーク協議会事務局職員もオンライン参加しました。



ジオツーリズム祭のオンライン会場

第50回 ジオ空教室

島原半島の歴史・文化・自然、そしてそれらを支えるジオの魅力、その道のプロが毎回たのしく紹介します。ふるってご参加ください！

10月23日(土) 午前10時～正午(受付開始:午前9時30分～)

※終了時間が前後する可能性があります。

口之津港ターミナルビル

島原城を築城した松倉重政の痕跡を探る第2弾！今回は、南島原市口之津町の「八雲神社」の創建にまつわる松倉重政の伝説を探ります。第1弾に参加していない人でも楽しめる内容です。

● 題目…島原半島に残る松倉重政の業績(その2)

～八雲神社は、有馬氏の威厳を利用して再建された？～

● 講師…森 輝隆 氏(島原半島ユネスコ世界ジオパークガイドの会認定ジオガイド)

● 持参品…タオル、飲み物、雨具、マスク、帽子

※5km程度徒歩で移動します。動きやすい服装でお越しください。

定20人 料無料 10月13日(水)

氏名、住所、性別、生年月日、電話番号を記載したメールまたは電話で申し込んでください。